

マルサの視界

国税局査察部の
内偵調査

上田二郎

法令出版

本書で紹介した事案はすべて事実を基に構成していますが、税務職員
の守秘義務及び当事者のプライバシーへの配慮の観点から、登場する人物
及び団体はすべて匿名（仮名）とし、地域、金額等についても手を加えて
います。

はじめに

私は、かつて東京国税局に勤務していた税務職員でした。うち、一七年間は査察部（マルサ）に籍を置き、さまざまな査察事件を内偵しました。マルサの職場は分業制です。尾行・張込などで脱税者を追いかける内偵班と、実際に強制調査に入る実施班とは、行っている仕事が決まらずに違ふのです。なぜ、分業制になっているのかは、本文で詳しく説明します。

いづれにしても、マルサの事件は、脱税の背景、手段、方法などすべての事件が、様々な登場人物が織りなす人間関係に左右され、千差万別です。脱税事件をひも解くと、まるで推理小説を読んでいるかのように展開していきます。

マルサには、「(事件) 一件で一生酒が飲める」という言葉があります。査察事件を一件着手すると、後に当時のメンバーが集まり、その事件を肴に一生酒が飲めるという意味です。本文で紹介した事件も、思えば深い事件ばかりです。

しかし一方で、一七年もの歳月を重ねるうちに、多くのものを失ったような気もします。例えば、健康、多くの時間、寂しいことにこの期間は家族に愛情を注ぐこ

ともままならない状態でした。税務署の同期からは「お前自身が一七年の実刑判決を食らったみたいだな」などと揶揄されていました。

現役時代、私は後輩によくこんなことを言っていました。

「マルサの仕事はおもしろいけど、楽しいと思つたことにはなら」

おもしろいと、楽しいの違いなど、そんなに意識するほどのものではないのかもしれない。しかし私は、「楽しい」の文字には「ラク」を意味する部分が含まれるような気がして、どうしても抵抗があつたのです。

ただ、改めていま、当時の仕事を振り返ってみると、やはりマルサの仕事は「おもしろい」と言えます。

マルサでの経験で忘れられない出来事が二つあります。

一つは張込みです。マルサは何カ月もの長い期間、張込みを行います。中でも、ごくわずかな情報だけを頼りに六カ月間にも及ぶ張込みを続け、尾行を成功させた経験は、私のマルサ人生の大きな教訓となりました。

もう一つはシュレッダーです。内偵調査中に漁つたゴミの中から出てきた、シュレッダーで細かく断裁された紙くず。機械が人に何が書いてあるか分からなくするために、細かく裁断した紙くずです。このシュレッダー屑の中身を、何時間も掛け

てジグソーパズルのように組み合わせ、何かヒントはないかを探す。気の遠くなるような作業です。

映画やドラマで観るような、派手な活躍とは対極にある、地道な職人の集団、それがマルサなのです。こんな愚直な職人集団の仕事を、みなさんにできるだけ詳しくご紹介したいと思い、筆をとりました。しかしマルサの話は、すべてが極秘です。本書で紹介する事件はすべて私の実体験に基づくものですが、守秘義務もあって、マルサの本質を上手く伝えられない部分もあります。しかし、薄れ行く記憶を辿りつつ、誠実に忠実に、ドラマ仕立てで再現したつもりです。もちろん、登場する社名・人名等はすべて仮名であることをお断りします。

また、記述の内容及び文章表現については、すべて著者の責任であることを付記しておきます。

目次

はじめに

第1章 マルサの男

過酷なマルサの仕事	14
マルサの組織	20
査察立件に至る手順	26
ピンク産業への視線	30
脱税情報	34
銀行調査	36
内偵調査報告書	41
検討会——脱税規模・内容の検討	46
裁判官への許可状請求	49

事件説明から強制調査へ	54
実施の調査	57

第2章 たまり

たまりの隠し場所	62
本部室	64
貸金庫	69
レンタル倉庫	71
一〇〇億円の現金	74

第3章 張込み―マルサの真髄

三種の神器	82
張込みの難敵	83
マルサの特殊自動車	84
高級住宅街	88
デート作戦	91

床屋のおじさん	97
職務質問	99

第4章 涙の連絡せん

「涙の連絡せん」とは	104
はかない休暇	109
クリスマスプレゼント	112
犯意の立証	118
三泊四日	124

第5章 帯封の物語るもの

現物債	132
クセ	134
張込み	139
帯封	142
帯封が導いた事件	146

第6章

差額関税

西伊豆の銀行調査	151
朝のセレモニー	154
伝票調査	156
ピンとくるヤツ	161
県信連の謎	162
県信連の調査	168
ターゲット	170
隠れ家	177
店舗の張込み	182
潜入調査	185
ゴミ拾い	186
流山線	194
BSEで儲けたヤツ	200
インターネット情報	204

第7章 謎の外国人

差額関税脱税のスキーム	210
豚肉の輸入取引レポート	215
一度目の微笑み——平々会	218
二度目の微笑み——税務調査	222
INSTRUCTIONS	227
深夜の張込み	233
三度目の微笑み——査察幹部の一言	237
強制調査	240
外国人名義の口座	246
ジャーナル調査	249
防犯ビデオ	252
「五〇〇〇円札」のよみ	256
張込みは不発に	259
ターゲットの動揺	261

第8章 株価操縦

内偵調査報告書の作成	264
事実誤認	266
海外旅行の裏技	268
検討会	271
手持ち事案	274
待ち構えていたもの	276
税務署の調査状況	279
取引の背景	283
M S C Bの謎	286
株価操縦	290
強制調査	293
最後の仕事	295

おわりに